

駐日アメリカ合衆国大使館
臨時代理大使
カート・トン 閣下

核性能実験に対する抗議について

千葉県佐倉市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を制定し、平和都市を宣言しております。

先日、貴国が本年7月から9月にかけて1回、核性能実験を実施したことを知りました。

被爆者を始め核兵器廃絶を願う世界の多数の市民は、オバマ大統領の、「核兵器のない世界」を目指すという姿勢に大きな期待を寄せてきました。

また、今月開催された国連総会において、核兵器の人道上の影響に関する共同声明が発表され、国連加盟国の3分の2に当たる125ヶ国が賛同し、核兵器廃絶に向けた気運が高まりを見せております。

しかるに、今回、実験が行われたことは、核兵器廃絶を願う世界の多数の市民の期待や願いを裏切るものであり、誠に残念でなりません。

今回の実験は、貴国が今後も核兵器を持ち続け、新たな核兵器の開発にも繋がる恐れのある行為であり、オバマ大統領が批准を目指す包括的核実験禁止条約の精神に反するものです。

佐倉市は、今回の核性能実験に厳重に抗議します。

貴国におかれましては、誠実に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けて努力されることを強く求めます。

2013年10月31日

佐倉市長

菅 和雄